参考様式 2

様式1　再生資源利用計画書（実施書）　－建設資材搬入工事用－

－「建設リサイクルガイドライン」様式－

記 入 例　　　　　　**表面**

灰色の部分は、記入する必要がありません。

計画書もしくは実施書に○をつける

発注者によるチェック

元請け会社担当者、連絡先の記入、TEL、FAXの番号間違いに注意

1.工事概要

部局、出先事務所名等まで記入

コード間違いに注意

発注機関名	関東地方整備局大宮国道工事事務所	発注機関コード*1	8 3 4 7 0 0
発注担当者チェック欄			
担当者	○ ○ ○ ○	TEL	○○○ （ ○○○ ） ○○○○

請負会社名	（株） ○ ○ ○		
建設業許可 または 解体工事業登録	埼玉県 大臣/知事 ○○○○○○○○ 号	請負会社コード*2	8 1 0 0 0
会社所在地	埼玉県さいたま市○○－○	TEL / FAX	○○○ (○○○)○○○○ / ○○○ (○○○)○○○○

記入年月日	H. ○ 年 ○ 月 ○ 日
工事責任者	○ ○ ○ ○
調査票記入者	○ ○ ○ ○

工事名	○ ○ 道路改良工事	工事種別コード*3	B － 1
工事施工場所	埼玉 都道府（県） さいたま（市）区町村 ○○～○○地先	住所コード*4	1 1 2 0 5
工事概要等	延長 300m ， 切土 3000m³ ， 道路盛土 5600m³ ， 路盤工 1050m³ ， 舗装工 570m³	施工条件の内容（再生資源の利用に関する特記事項等）	1．路体盛土材は○○市○○地先より運搬 2．舗装工（基層及び歩道部）は再生加熱アスファルト混合物とする

請負金額	千百十億億億億 千百十万万万万　1 0 0 0 0　0,000 円（税込み）　1万円未満四捨五入
工期	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日から 平成 14 年 7 月 7 日まで
左記金額のうち特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用	億万万万万 千百十　5 0　0,000 円（税込み）　1万円未満四捨五入
再資源化等が完了した年月日	平成 14 年 5 月 30 日

建築・解体工事のみ右欄に記入して下さい

建築面積	百十万万万千百十一 m²	階数	地上　階
延床面積	m²		地下　階
構造（数字に○をつける）	1.鉄骨鉄筋コンクリート造　2.鉄筋コンクリート造　3.鉄骨造　4.コンクリートブロック造　5.木造　6.その他		
使途（数字に○をつける）	1.居住専用　2.居住産業併用　3.事務所　4.店舗　5.工場、作業所　6.倉庫　7.学校　8.病院診療所　9.その他		

※解体工事については、建築面積を御記入いただかなくても結構です。

名称とコードとの一致

発注者の管轄と工事施行場所との整合

書面の特定建設資材廃棄物（3品目）の再資源化等に要した費用、および、再資源化等の完了日を記入

建築面積＜延床面積

桁間違い、単位の違いに注意

着工＜竣工
請負金額＞処理費用

択一

2.建設資材利用計画（実施）

注：コード＊5～9は下記欄外のコード表より数字を選んでください。

単位に注意

分類		小分類コード*5	規格	主な利用用途コード*6	利用量(A)		再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元種類コード*7	施工条件内容コード*8	再生資材の供給元場所住所	住所コード*4	再生資材の名称コード*9	再生資材利用量(B)（注1）		再生資源利用率 B/A×100
建設資材（新材を含む全体の利用状況）							左記のうち、再生資材の利用状況（再生資材を利用した場合に記入してください）								
特定建設資材	コンクリート	1			10	トン								トン	%
						トン								トン	%
	合計					トン								トン	%
	コンクリート及び鉄から成る建設資材	1			5	トン								トン	%
						トン								トン	%
	合計					トン								トン	%
	木材					トン								トン	%
						トン								トン	%
	合計					トン								トン	%
	アスファルト混合物	1	(20)		740	トン	○○道路(株)○○工場	2	1	川口市○○地先	1 1 2 0 3	1	740	トン	100 %
		2	(20)		494	トン								トン	%
	合計				1234	トン							740	トン	60 %
その他の建設資材	土砂	2		2	2100	締めm³	○○道路改良工事	2	1	川越市○○地先	1 1 2 0 1	2	2100	締めm³	100 %
		8		1	500	締めm³								締めm³	0 %
	合計				2600	締めm³							2100	締めm³	81 %
	砕石	2	M40～0	2	810	m³	○○(株)○○工場	3	1	上尾市○○地先	1 1 2 1 9	2	500	m³	62 %
		1	C40～0	1	30	m³	現場内利用	1	1	現場内利用	1 1 2 0 5	1	30	m³	100 %
	合計				840	m³							530	m³	63 %
	石膏ボード					トン								トン	%
						トン								トン	%
	合計					トン								トン	%
	塩化ビニル管・継手					トン								トン	%
						トン								トン	%
	合計					トン								トン	%
	その他（再生資材のみ記入）					トン								トン	%
						トン								トン	%
	合計					トン								トン	%

小分類と再生資材名称のコードの一致

整数あるいは小数点第一位まで記入

この欄は記入する必要はありません

市町村名と住所コードの一致

具体的な名称を記入

コード*5
- コンクリートについて
  - 1.生コン　2.無筋コンクリート二次製品　3.その他
- コンクリート及び鉄から成る建設資材について
  - 1.有筋コンクリート二次製品　2.その他
- 木材について
  - 1.木材（ボード類を除く）　2.木質ボード
- アスファルト混合物について
  - 1.粗粒度アスコン　2.密粒度アスコン　3.細粒度アスコン　4.開粒度アスコン　5.改質アスコン　6.アスファルトモルタル　7.加熱アスファルト安定処理路盤材　8.その他
- 土砂について
  - 1.第一種建設発生土　2.第二種建設発生土　3.第三種建設発生土　4.第四種建設発生土　5.浚渫土　6.土質改良土　7.建設汚泥改良土　8.再生コンクリート砂　9.山砂、山土等の購入土、採取土
- 砕石について
  - 1.クラッシャーラン　2.粒度調整砕石　3.鉱さい　4.単粒度砕石　5.ぐり石、割ぐり石、自然石　6.その他
- 石膏ボードについて
  - 1.石膏ボード　2.シージング石膏ボード　3.強化石膏ボード　4.化粧石膏ボード　5.石膏ラスボード　6.その他
- 塩化ビニル管・継手について
  - 1.硬質塩化ビニル管　2.その他
- その他について（再生資材の名称を具体的に記入）

コード*6
- アスファルト混合物について
  - 1.表層　2.基層　3.上層路盤　4.歩道　5.その他（駐車場舗装、敷地内舗装等）
- 土砂について
  - 1.道路路体　2.路床　3.河川築堤　4.構造物等の裏込材、埋戻し用　5.宅地造成用　6.水面埋立用　7.ほ場整備（農地整備）　8.その他（具体的に記入）
- 砕石について
  - 1.舗装の下層路盤材　2.舗装の上層路盤材　3.構造物の裏込材、基礎材　4.その他（具体的に記入）
- 石膏ボードについて
  - 1.壁　2.天井　3.その他
- 塩化ビニル管・継手について
  - 1.水道（配水）用　2.下水道用　3.ケーブル用　4.農業用　5.設備用　6.その他
- その他について（利用用途を具体的に記入）

コード*7
- 再生資材の供給元について
  - 1.現場内利用
  - 2.他の工事現場（陸上）
  - 3.他の工事現場（海上）
  - 4.再資源化施設
  - 5.ストックヤード
  - ・土質改良プラント
  - 6.その他

コード*8
- 施工条件について
  - 1.再生材の利用の指示あり
  - 2.再生材の利用の指示なし

コード*9
- コンクリートについて
  - 1.再生生コン　2.再生無筋コンクリート二次製品　3.その他
- コンクリート及び鉄から成る建設資材について
  - 1.再生有筋コンクリート二次製品　2.その他
- 木材について
  - 1.再生木材（ボード類を除く）　2.再生木質ボード
- アスファルト混合物について
  - 1.再生粗粒度アスコン　2.再生密粒度アスコン　3.再生細粒度アスコン　4.再生開粒度アスコン　5.再生改質アスコン　6.再生アスファルトモルタル　7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材　8.その他
- 土砂について
  - 1.第一種建設発生土　2.第二種建設発生土　3.第三種建設発生土　4.第四種建設発生土　5.浚渫土　6.土質改良土　7.建設汚泥改良土　8.再生コンクリート砂
- 砕石について
  - 1.再生クラッシャーラン　2.再生粒度調整砕石　3.鉱さい　4.その他
- 塩化ビニル管・継手について
  - 1.再生硬質塩化ビニル管　2.その他
- その他について（再生資材の名称を具体的に記入）

注1:再生資材利用量について

アスファルト混合物等で、利用した再生材（製品）の中に、新材が混入している場合であっても、新材混入分を含んだ再生資材（製品）の利用量を記入してください。

裏面にも御記入ください

参考様式 3

様式2　再生資源利用促進計画書(実施書)　－建設副産物搬出工事用－

記 入 例

計画書もしくは実施書に○をつける

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

1.工事概要　表面(様式1)に必ずご記入下さい

灰色の部分は、記入する必要がありません。

2.建設副産物搬出計画(実施)

単位に注意

現場内利用の欄には、発生量のうち、現場内で利用したものについて御記入ください。

コード*14(コード*13で「7.内陸処分場」を選択した場合のみ記入)
1.山砂利等採取跡地　2.処分場の覆土　3.池沼等の水面埋立　4.谷地埋立　5.農地受入　6.その他

建設副産物の種類	場外搬出時の性状	①発生量(掘削等) =②+③+④	現場内利用 用途コード*10	現場内利用 ②利用量	うち現場内改良分	減量化 減量法コード*11	減量化 ③減量化量	搬出先	搬出先名称(2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。)	区分(どちらかに○を付けて下さい)	施工条件の内容 コード*12	搬出先場所	住所コード*4	運搬距離(千百十一)	搬出先の種類コード*13	受入地の用途コード*14	④現場外搬出量	うち現場内改良分	⑤再生資源利用促進量(注2)	再生資源利用促進率 (②+③+⑤)/① (%)
特定建設資材廃棄物	コンクリート塊	100 トン	1	71 トン	トン			搬出先1	○○リサイクル(株)○○工場	公共 (民間)	1	上尾市○○	11219	10 km	2		29 トン	トン	29 トン	100 %
								搬出先2		公共 民間				km			トン	トン		
特定建設資材廃棄物	建設発生木材(木材が廃棄物になったもの)	10 トン		トン	トン		トン	搬出先1	○○(株)チップ化工場	公共 (民間)	1	岩槻市○○	11213	15 km	2		8 トン		8 トン	80 %
								搬出先2	(株)○○　中間処理施設	公共 (民間)	1	さいたま市○○	11205	5 km	9		2 トン			
特定建設資材廃棄物	アスファルト・コンクリート塊	300 トン		トン	トン			搬出先1	○○道路(株)○○工場	公共 (民間)	1	川口市○○	11203	15 km	2		300 トン	トン	300 トン	100 %
								搬出先2		公共 民間				km			トン	トン		
建設廃棄物	その他がれき類	トン					トン	搬出先1		公共 民間				km			トン		トン	%
								搬出先2		公共 民間				km			トン			
建設廃棄物	建設発生木材(伐木材、除根材など)	10 トン		トン	トン		トン	搬出先1	○○(株)チップ化工場	公共 (民間)	1	岩槻市○○	11213	15 km	2		8 トン		8 トン	80 %
								搬出先2	(株)○○　中間処理施設	公共 (民間)	1	さいたま市○○	11205	5 km	9		2 トン			
建設廃棄物	建設汚泥	800 トン		トン	トン	3	50 トン	搬出先1	○○(株)	公共 (民間)	2	東京都江戸川区○○	13123	40 km	2		260 トン	トン	260 トン	33 %
								搬出先2	○○処分	公共 (民間)	3	上尾市○○	11219	10 km	7		490 トン	トン		
建設廃棄物	建設混合廃棄物	30 トン		トン	トン		トン	搬出先1	○○サイ[illegible]	公共 (民間)	2	上尾市○○	11219	15 km	2		30 トン	トン	30 トン	100 %
								搬出先2		公共 民間				km			トン	トン		
建設廃棄物	金属くず	10 トン						搬出先1	○○金属(株)	公共 (民間)	3	さいたま市○○	11205	5 km	3		10 トン		10 トン	100 %
								搬出先2		公共 民間				km			トン			
建設廃棄物	廃塩化ビニル管・継手	トン						搬出先1		公共 民間				km			トン		トン	%
								搬出先2		公共 民間				km			トン			
建設廃棄物	廃プラスチック(廃塩化ビニル管・継手を除く)	2 トン						搬出先1	○○リサイクルセンター	公共 (民間)	2	上尾市○○	11219	15 km	2		2 トン		2 トン	100 %
								搬出先2		公共 民間				km			トン			
建設廃棄物	廃石膏ボード	トン						搬出先1		公共 民間				km			トン		トン	%
								搬出先2		公共 民間				km			トン			
建設廃棄物	紙くず	1 トン				1	1 トン	搬出先1		公共 民間				km			トン		0 トン	100 %
								搬出先2		公共 民間				km			トン			
建設廃棄物	アスベスト(飛散性)	1 トン						搬出先1	○○処分場	公共 (民間)	3	上尾市○○	11219	10 km	7		1 トン		0 トン	0 %
								搬出先2		公共 民間				km			トン			
建設廃棄物	その他の分別された廃棄物	1 トン						搬出先1	○○処分場	公共 (民間)	3	上尾市○○	11219	10 km	7		1 トン		0 トン	0 %
								搬出先2		公共 民間				km			トン			
建設発生土	第一種建設発生土	2000 地山m3		地山m3	地山m3			搬出先1	○○工場	(公共) 民間	1	さいたま市○○地先	11205	5 km	1		1200 地山m3	地山m3	2000 地山m3	100 %
								搬出先2	○○ストックヤード	(公共) 民間	2	さいたま市○○地先	11205	8 km	4		800 地山m3	地山m3		
建設発生土	第二種建設発生土	地山m3		地山m3	地山m3			搬出先1		公共 民間				km			地山m3	地山m3	地山m3	%
								搬出先2		公共 民間				km			地山m3	地山m3		
建設発生土	第三種建設発生土	1700 地山m3	3	700 地山m3	地山m3			搬出先1	○○工場	(公共) 民間	1	上尾市○○地先	11219	10 km	1		600 地山m3	地山m3	600 地山m3	76 %
								搬出先2	○○処分場	(公共) 民間	3	桶川市○○地先	11213	20 km	7	1	400 地山m3	地山m3		
建設発生土	第四種建設発生土	地山m3		地山m3	地山m3			搬出先1		公共 民間				km			地山m3	地山m3	地山m3	%
								搬出先2		公共 民間				km			地山m3	地山m3		
建設発生土	浚渫土	地山m3		地山m3	地山m3			搬出先1		公共 民間				km			地山m3	地山m3	地山m3	%
								搬出先2		公共 民間				km			地山m3	地山m3		
合計		3700 地山m3		700 地山m3	地山m3												3000 地山m3	地山m3	2600 地山m3	89 %

記入上の注意(記入例中の注記):
- 市町村名と住所コードの一致
- 記入欄の桁に注意
- 搬出先が複数箇所の場合に2ヶ所目、3ヶ所目を記入　4ヶ所以上にわたる時は新しい用紙に続きを記入
- 整数で記入
- 整数あるいは少数点第一位まで記入
- コード*13で「7」選択時に記入

コード*10
1.路盤材　2.裏込材
3.埋戻し材
4.その他(具体的に記入)

コード*11
1.焼却　2.脱水
3.天日乾燥
4.その他(具体的に記入)

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13(詳細は「表－4」参照のこと)

再生資源利用促進(再生利用された場合)	最終処分場・その他(処分された場合)
1.他の工事現場(内陸:公共、民間を含む)	6.最終処分場(海面処分場)
2.中間処理施設(焼却以外)・土質改良プラント	7.最終処分場(内陸処分場)
3.売却(工事請負会社が建設副産物を売却し、代金を得た場合)	8.建設発生土受入地
4.建設発生土ストックヤード(再利用工事が決まっている場合)	9.建設発生土ストックヤード(再利用工事未定)
5.海面埋立事業(海岸、海浜事業含む)	10.中間処理施設(焼却)
	11. その他(具体的に記入)

注2:再生資源利用促進量について
現場外搬出量④のうち、搬出先の種類(コード*13)が1.～5.の合計